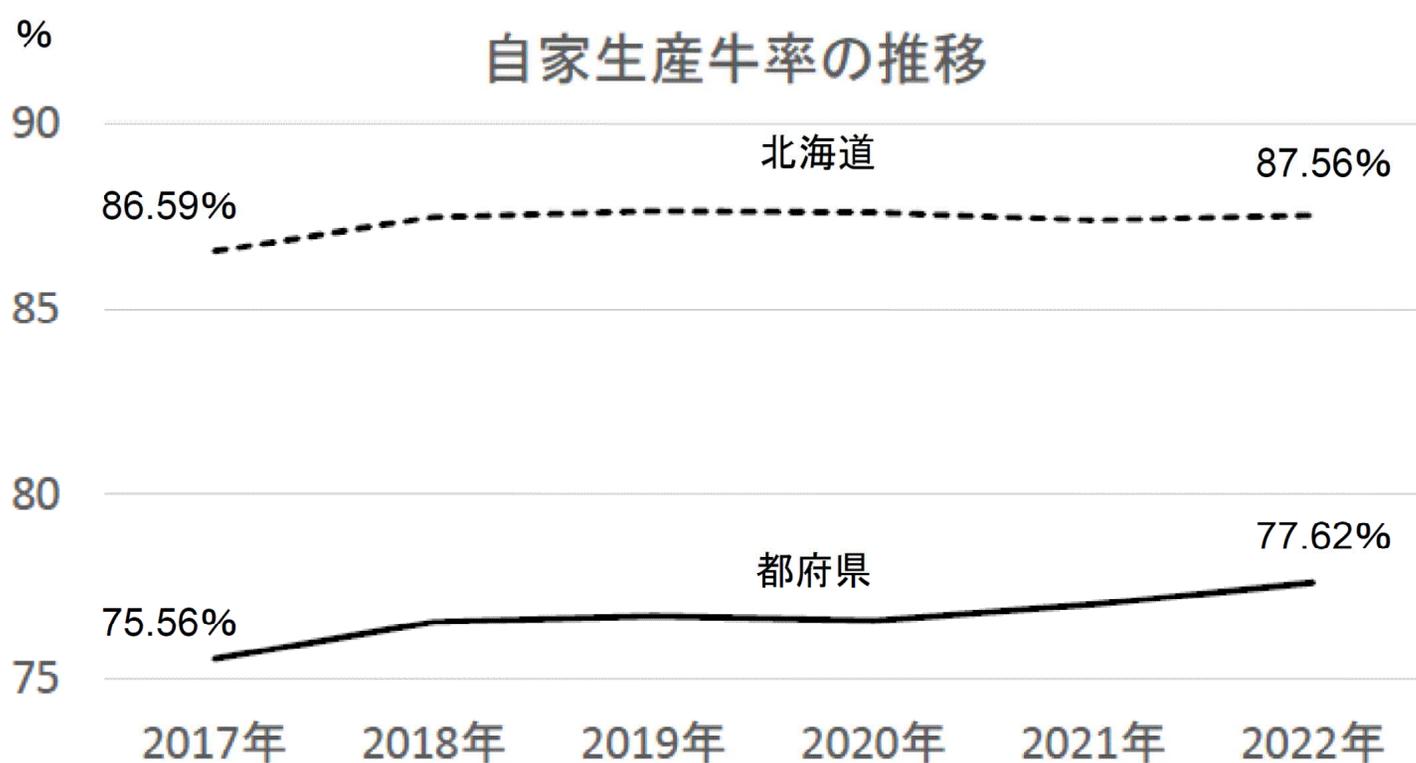


牛群検定の利活用などについて、解説記事を掲載しています。

- 1 全酪新報 8月1日号 全国酪農協会
第26回繁殖改善で経営向上「牛群検定活用しよう」渡邊 徹 家畜改良アドバイザー
血中のリン濃度は要チェック 油粕類注意 炭カルで低減も
- 2 デーリイマン 8月号 デーリイマン社
牛群検定の読み方(その11)
BHBが0.13mM/L以上はケトーシスの疑い
- 3 LIAJニュース7月号 (一社)家畜改良事業団
 - ①新しい牛群検定成績表について(その85) [検定成績表見方](#) [検索](#)
今こそ牛群検定の活用を!
 - ②牛群検定ビッグデータ(その28)
体細胞数の分娩後日数別平均

牛群検定における自家生産牛率の推移



年間子牛生産状況

(2018年02月～2019年01月末 分娩または出生)

～略～

(3) 自家生産牛の比率 ※9

本 牛	頭 数	自家生産		導 入	
		頭	%	頭	%
1 産	11	11	100.0	0	0.0
2 産	12	12	100.0	0	0.0
3 産以上	22	17	77.3	5	22.7
計	45	40	88.9	5	11.1

※9 年間に分娩報告した母牛

自家生産牛とは、自分で生産した牛という意味です。従来、良く言われていた自家育成牛に加えて、育成牧場等に預託して戻ってきた牛を含みます。近年、僅かですが増加の傾向にあります。

検定農家は、検定成績表の裏面に掲載されている左記の年間子牛生産状況で、自身の自家生産牛比率を知ることが出来ます。

牛群検定！点検シート（その63 乳房炎）

お手許の検定成績を使いながら牛群管理の点検を行います。極簡単なものなので、これを機会に検定員といっしょに確認を行いましょ！

農家コード _____ 氏名 _____

・下図の見本検定成績表を参考にチェックしましょう！

①今月の検定成績の体細胞数の欄に三角マーク（△や▲など）が沢山ついていませんか？

Yes No

→△:283~1131千個/ml、▲:1132千個/ml以上
乳房炎の罹患の可能性の高い牛です

②高体細胞影響率が飛び抜けて大きい牛がいませんか？

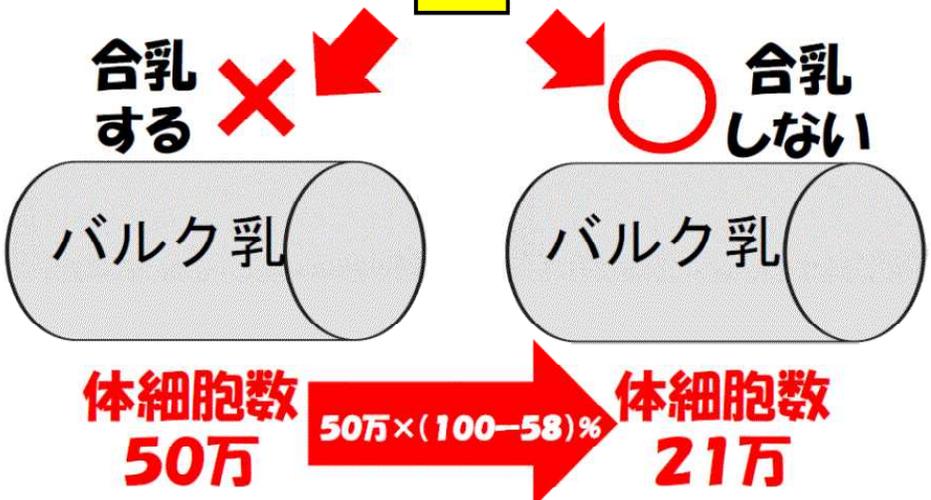
Yes No

→高体細胞影響率の高い牛は出荷バルクの合乳せず、治療に専念するという判断も必要です。

検定成績表

牛コード	分娩			搾乳 又は 乾乳 日数	体細胞						
	年月日	産次	性別		高体細胞 影響率	体細胞数 (千/ml)	今月 (千/ml)	前月 前々月			
0187	241105	1	♂	1	7		77				
0186	241016	1	♀	1	27	△	603	7			
0179	241006	2	♀	2	37		75				
0177	240824	2	♀	2	80		184	△	348	203	
0185	240814	1	♀	2	90		18		31	36	
0184	240811	1	♀	1	93		85		22	264	
0174	240730	2	♀	2	105		120		137	70	
0183	240723	1	♀	5	112		24		16	39	
0176	240720	2	♀	1	115		51		44	50	
0167	240531	2	♂	2	165		129		66	27	
0173	240514	2	♀	1	178		52		17	46	
0182	240514	1	♀	1	178	①	72		159	159	
0152	240306	4	♀	1	217		147		230	230	
0150	240226	4	♀	2	260		368	30	5086	225	
0170	240201	2	♀	1	285		51		43	57	
0163	240113	3	♂	2	304		386	28	682	△	794
0171	240106	2	♀	1	311		489	2	302	248	248
0168	240102	2	♀	2	315		770	5	375	△	393
0160	231225	4	♂	2	323		124	8	1170	▲	1166
0181	231204	1	♀	2	344		35		291	45	45
0161	231017	3	♀	1	392		688	5	600	△	568

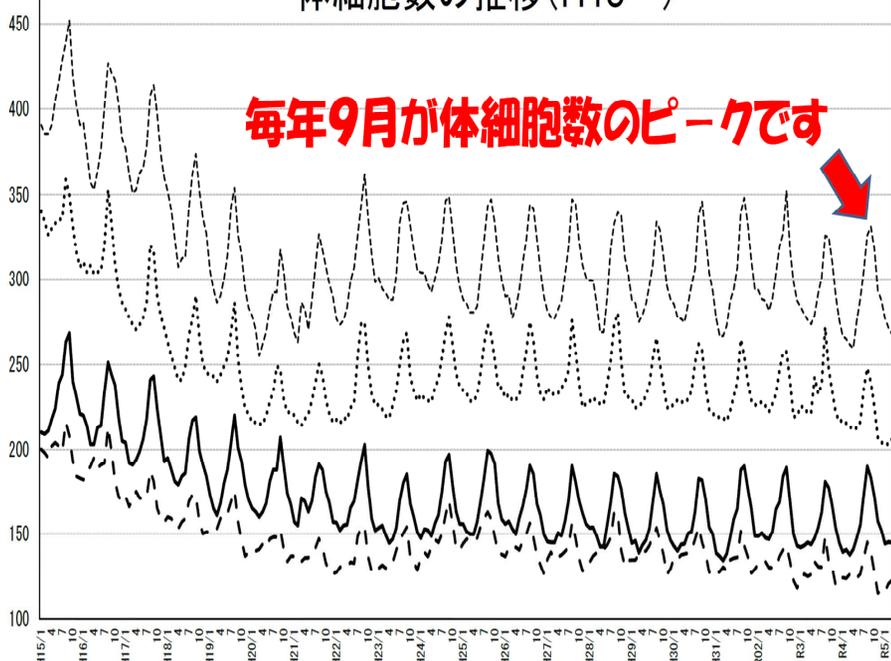
高体細胞影響率58%
の検定牛の生乳



高体細胞影響率とは

左図に高体細胞影響率が30%と28%と高い牛がいます。もし、この2頭をバルク合乳しないで廃棄扱いすれば、バルクの体細胞数が58% (=30+28)も低下します。例えばバルクの体細胞数が50万だったとすれば、2頭除外するだけで21万になります。

体細胞数の推移(H15~)



体細胞数は季節変動が大きい形質で、9月が1年で最も高い数字を示します。主な原因は次の通りです。当てはまらないかチェックして、改善しましょう。

夏季に多い原因

- 都府県2産以上 ①夏バテによる食欲不振での体力低下
- 北海道2産以上 ②ミストなどの水滴で牛体を濡らした
- ③放牧時の雨で牛体を濡らした
- ④糞尿で汚れた牛床
- 都府県1産 ⑤サシバエやアブなどの吸血昆虫
- 北海道1産